

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 11318767
PUBLICATION DATE : 24-11-99

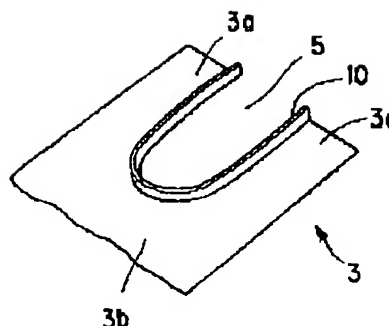
APPLICATION DATE : 13-05-98
APPLICATION NUMBER : 10129809

APPLICANT : NIKKO:KK;

INVENTOR : NISHIYAMA KAZUE;

INT.CL. : A47K 17/02 A47G 27/02

TITLE : MAT FOR TOILET



ABSTRACT : **PROBLEM TO BE SOLVED:** To prevent a mat from shifting even after a long period of time, and prevent a gap from occurring between a toilet and the mat by a method wherein a neck part is formed by cutting off one end part of the mat, and the neck part is tightly joined to the periphery of the leg part of the toilet by at least one part of the periphery of the neck part.

SOLUTION: In a mat 3, its one end is cut off, and a neck part 5 is formed, and on both sides of the neck part 5, shoulder parts 3a, 3a are formed. Around the neck part 5, a collar part 10 as a tightening part which closely joins the mat 3 to the leg part of a toilet, is formed, and the collar part 10 is formed in such a manner that a V-shaped elastic plate wherein the elastic force works inward, may join to the periphery of the neck part 5. The elastic plates are formed of materials such as paper, metal, plastic, and shape memory alloys, and the mat 3 is formed of materials such as a paper, a fabric and sponge for sanitary napkins, paper diapers or the like. Therefore, the mat 3 can closely joined to the periphery of the leg part of the toilet, and a floor surface of the toilet can be effectively prevented from being soiled.

COPYRIGHT: (C)1999,JPO

BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-318767

(43) 公開日 平成11年(1999)11月24日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

F I

A 4 7 K 17/02

A 4 7 K 17/02

Z

A 4 7 G 27/02

1 0 1

A 4 7 G 27/02

1 0 1 C

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平10-129809

(22) 出願日 平成10年(1998) 5月13日

(71) 出願人 598062192

株式会社日興

神奈川県茅ヶ崎市旭が丘 6 番30号

(72) 発明者 西山 和恵

神奈川県藤沢市鵠沼神明 2 丁目11番15号

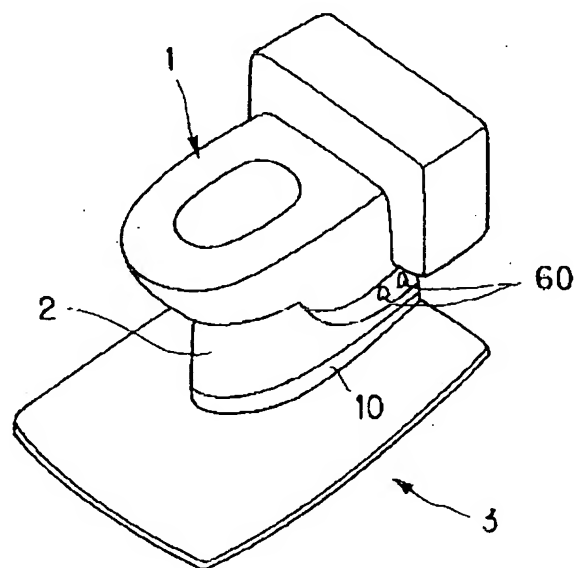
(74) 代理人 弁理士 石川 泰男

(54) 【発明の名称】 トイレ用マット

(57) 【要約】

【課題】 便器の脚部に密着するトイレ用マットを提供する。

【解決手段】 マット3の一端部分をくり抜いて首部5を形成し、この首部を便器の脚部2の周囲に緊着するように、内側に力を加えようとするえり部10、20、42もしくは脚部固定用の固定リップの突起60にマットの肩部3aに取付けた引掛部材71、82、90、100を引掛ける。



BEST AVAILABLE COPY

【特許請求の範囲】

【請求項1】 マットの一端部分をくり抜いて首部を形成し、この首部の周囲の少なくとも一部に首部を便器の脚部周囲に緊着するための緊着手段を設けたことを特徴とするトイレ用マット。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、便器の脚部に緊着されトイレの床面の汚れを防止するようにしたトイレ用マットに関する。

【0002】

【従来の技術】トイレの便器の周囲には、床面が尿で汚れないようにするためにマットが敷かれている。この種マットとしては、実用新案登録第3036903号に開示されたものがある。このマットは、マットの一端部分をくり抜いた凹部の深奥部にえりを取付けたものである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上述のマットは、えりを有してはいるが、便器の側面に密着する手段が設けられておらず、人がトイレに出入りしたときに自然に足で蹴られることにより動いてしまい、便器との間に隙間ができて尿が床に浸み込んで床が黒く変色することがある。

【0004】そこで、本発明は、便器の脚部周囲に緊着し、長期間経ってもずれることなく便器とマットとの間に隙間が生じないようなトイレ用マットを提供することを目的とする。

【0005】

【課題を達成するための手段】そこで、本発明は、マットの一端部分をくり抜いて首部を形成し、この首部の周囲の少なくとも一部に首部を便器の脚部周囲に緊着するための緊着手段を設けたことを特徴とする。

【0006】

【発明の実施の形態及び実施例】以下、図面を参照して本発明の一実施例について説明する。

【0007】図1において、便器1は脚部2を有し、この脚部2の周囲にはマット3が緊着されている。このマット3は図2に示すように、その一端がくり抜かれて首部5を形成し、この首部5の両側に肩部3a、3aが形成されている。前記首部5の周囲には、マットを便器の脚部2に密着せしめる緊着部分としてのえり部10が形成され、このえり部10は、図3に示すように、内側に弾性力が働くV字形の弾性板10aが首部5の周囲に付着（縫い付け）するようにして形成されている。また、弾性板10aの代りに図4に示すように、全体としては全体としてU字形のV形折曲の波形板11が使用されてもよい。

【0008】これら弾性板10a、波形板11の材質は、紙、金属、竹、木、プラスチック、ポリプロピレ

ン、形状記憶合金等で形成され、マット3の材質は生理用品、紙おむつ、タオルマット等の紙や布、スポンジ、ニット、木の皮等の素材で形成される。

【0009】また、これら弾性板10a、波形板11は首部5の周囲に縫い付ける他に、首部5の周囲に袋部分20を形成し、この中に挿入するようにしてもよいし、棒状の弾性体21を挿入するようにしてもよい。

【0010】また、緊着部分には、波形板11の代りに、後曲折曲の波形板200であってもよく、その先端200aに内側に折曲する折曲片200bを形成してもよい。更に、図17に示すように、緊着部分に首部211が形成された弾性板210を使用してもよい。また、図18に示すように弾性板220にスリット221を形成してもよく、図19に示すように弾性体230にクリップ231を取付けて、このクリップでマットの首部を保持してもよい。また、図20に示すように、マット300の首部の周囲にゴム紐を縫い付けてマットが便器の脚部に密着し易いようにしてもよい。

【0011】前記マット3上には、アンモニアで変色する物質を塗布しておき、図6に示すように、変色したしみ50、50…50の程度に応じてマットを取り換えるようにする。

【0012】図7に示すように、弾性体22を首部5の周囲に取り付けるには、首部の周囲を折り曲げて、その折り曲げ部分をホック、マジックテープ、粘着テープ等で貼り付けて袋部分20、21、20を形成し、その袋部分20、21、20にU字状の弾性体22を収納してもよい。

【0013】また、図8に示すように、マット3の首部5に紙、竹、木の素材を使用してマットと一体化したえり部42を形成するようにしてもよい。

【0014】更に、図9に示すように従来のマット300上に、小形のマット40を載置してそこに緊着手段としてのえり部41を形成した小形補助マット40を設けてもよい。この小形補助マット40は脚部2の周囲とマット300との間隙を閉塞する。

【0015】図10は、マット3の他の取付け方を示すものであり、便器の脚部2の後側側面に設けられた、便器を床面に取付ける固定ビスの突起60、60を図11に示すような、マット3の首部5の周辺近傍の肩部に形成した固定穴62、62…62に挿入して、その上にキャップ61を被せるようにしてもよい。

【0016】また、図12に示すように、前記固定ビスの突起60にキャップ70を被せ、このキャップに引掛部材としてのフック71付きリング72を取付け、前記フック71を前記固定穴62に引掛けるようにしてもよい。

【0017】更に、図13に示すように、マットの肩部3aにゴム体81の先端に弾性リング80を有する引掛部材としての固定リング82を取付け、この固定リング

80を固定ビスの突起60に被せられたキャップ70に嵌め込むようにしてもよい。

【0018】更に、図14に示すように肩部3a、3aの端部に取付けた弾性フック90をキャップ70に取付けた引掛部材としてのリング71に保合させるようにしてもよいし、図15に示すようにリング100を有するとともに洗濯ばさみのように2枚の開閉板からなる着脱部101からなる引掛部材としての着脱リング100を固定ビスの突起を被うキャップ70に嵌め込むようにしてもよい。前記リング100は例えば、プラスチック、金属、ゴム等で形成される。

【0019】

【発明の効果】本発明は、以上のように構成したので、マットを便器の脚部の周囲に緊着させることができ、トイレの床面の汚れを有効に防止できるという効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のマットを便器の脚部周囲に取付けたときの斜視図である。

【図2】本発明のトイレ用マットの斜視図である。

【図3】マットのえり部を構成する弾性板の斜視図である。

【図4】マットのえり部を構成する波形板の斜視図である。

【図5】マットのえり部に弾性体を取付ける方式を説明する図である。

【図6】マットにアンモニアで変色する物質を塗布した場合のしみを有するマットの斜視図である。

【図7】マットのえり部に弾性体を取付ける方式を説明する図である。

【図8】マットのえり部と肩部を一体に形成したときの斜視図である。

【図9】従来のマットに小形補助マットを付加したときの斜視図である。

【図10】便器の脚部固定ビス突起にマットの肩部を引掛けた場合の斜視図である。

【図11】マットの肩部に固定穴を開けた場合のマットの斜視図である。

【図12】便器の脚部固定ビスの突起にマットの肩部を取付ける方式を示した斜視図である。

【図13】便器の脚部固定ビスの突起にマットの肩部を取付ける方式を示した斜視図である。

【図14】便器の脚部固定ビスの突起にマットの肩部を取付ける他の方式を示した斜視図である。

【図15】便器の脚部固定ビスの突起にマットの肩部を取付ける更に他の方式を示した斜視図である。

【図16】弾性板の他の実施例図である。

【図17】弾性板の他の実施例図である。

【図18】弾性板の他の実施例図である。

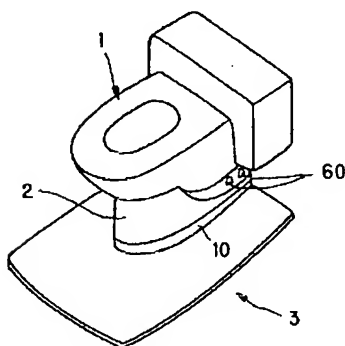
【図19】弾性板の他の実施例図である。

【図20】マットの他の実施例を示す平面図である。

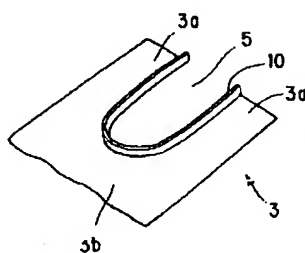
【符号の説明】

- 1 … 便器
- 2 … 脚部
- 3 … マット
- 3a … 肩部
- 5 … 首部
- 10a … 弾性板
- 11 … 波形板
- 40 … 小形補助マット
- 60 … 固定ビス突起
- 61 … キャップ
- 71 … フック
- 80 … 弾性リング

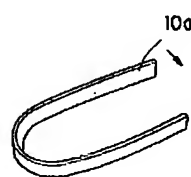
【図1】



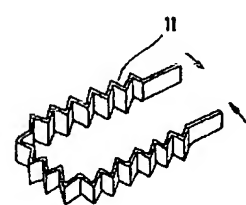
【図2】



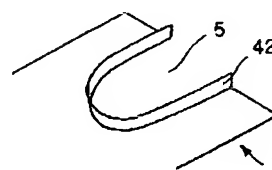
【図3】



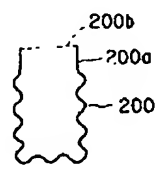
【図4】



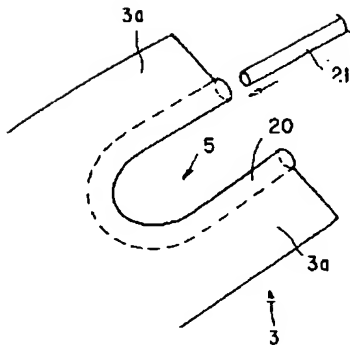
【図8】



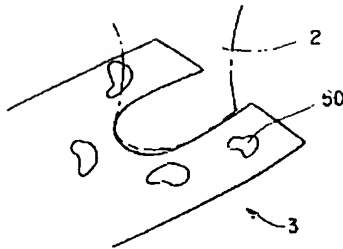
【図16】



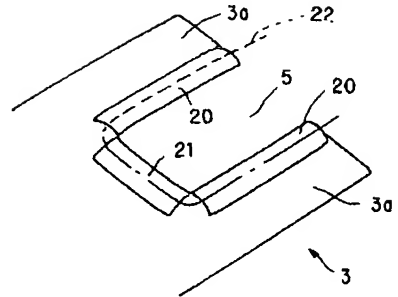
【図5】



【図6】

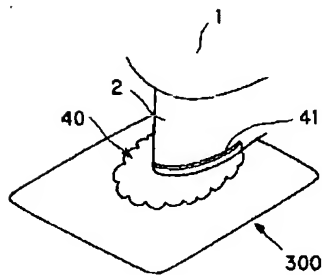


【図7】

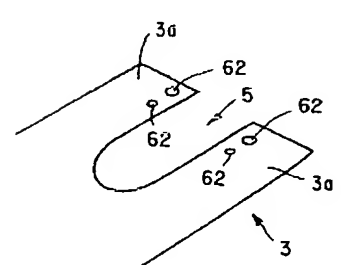
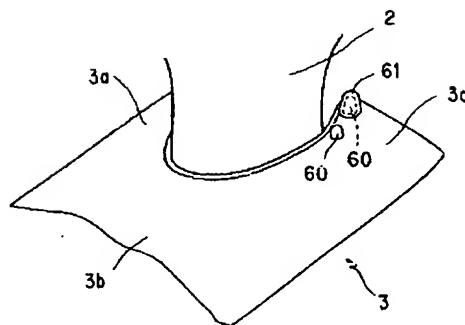


【図11】

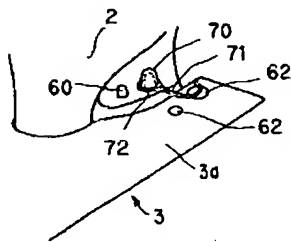
【図9】



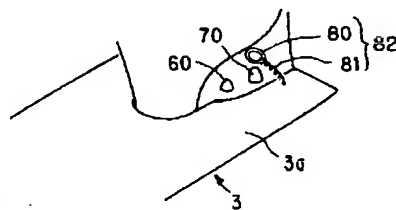
【図10】



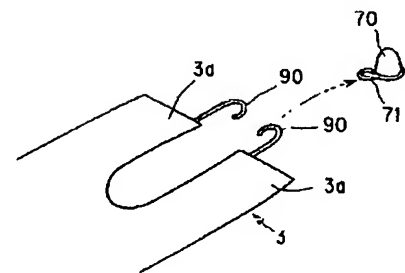
【図12】



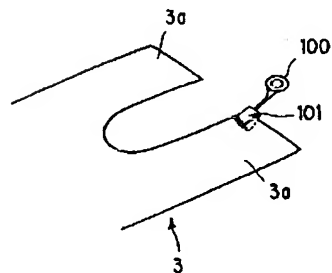
【図13】



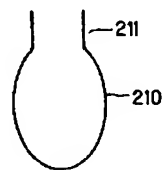
【図14】



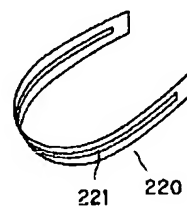
【図15】



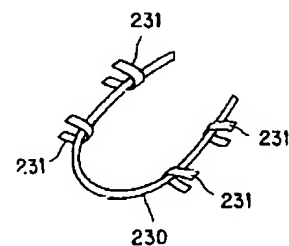
【図17】



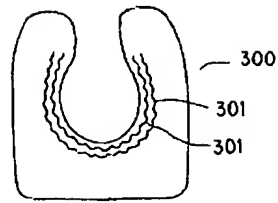
【図18】



【図19】



【図20】



BEST AVAILABLE COPY